

大震災出版復興基金の熊本地震対応——活動範囲の拡大について

2016/05/24

<大震災>出版対策本部

今回の熊本地震で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災され、今この時を懸命に生きていらっしゃる全てのみなさまに、心からのお見舞いを申し上げます。

<大震災>出版対策本部は2011年3月、出版三団体（日本書籍出版協会、日本雑誌協会、日本出版クラブ）で立ち上げ（現在は読書推進協議会が加わり四団体）、三つの目標——出版事業を通じた読書環境の復活、販売環境の復活、人々の心の復活——を掲げて活動してまいりました。具体的には、被災三県への図書寄贈、読み聞かせ・作家の講演などの読書イベントへの資金補助、小学生や震災遺児への図書カードプレゼントなど、地元のニーズに合わせた支援を続けてきました。そのために、出版対策本部は「大震災出版復興基金」を設立し、東日本大震災での活動に充ててきました。

今回、熊本地震による重大な被害に直面し、大震災出版復興基金を熊本地震にも適用すべきではないかとの意見があり、5月18日に四団体の代表で構成する常任委員会において、出版復興基金の熊本地震への充当が了承されました。前述の「三つの目標」に照らして妥当であるとの判断です。

東日本大震災で私たちの活動に協力してくれたみなさま、また募金に応じていただいたみなさまには、なにとぞ、基金活用の拡大に関しまして、ご理解いただき、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。